

人間ドックから省略されている検査項目

※比較対象としているのは、健診団体連絡協議会で決定された基本検査項目（2021.4.1更新）です。

検査項目			詳細項目	一般健診に含めなかった理由
身体測定・診察等			心拍数	異常な頻脈および徐脈は、血圧測定および心電図検査時に同時に測定されている。また医師診察時に聴診にて確認されているのでわざわざ項目としてあげる項目ではない。
			呼吸機能	呼吸機能異常が疑われる人に対して二次検査として行うべき検査であり、一般検査として導入する検査ではない。
血液検査	生化学検査	肝機能	T-B I L（総ビリルビン）	同項目の異常時には必ず、肝機能異常を示すGOT,GPT,g-GTPの上昇があるので、同項目の検査は医学的に必要性はない。
			アルブミン	就業年齢層を対象とする健診においては、栄養面、疾患頻度、を考慮しても異常性がきわめて低いいため不要な検査項目である。本検査は高齢者の健診では採用することがある。
			A L P	同項目の異常時には必ず、肝機能異常を示すGOT,GPT,g-GTPの上昇があるので、同項目の検査は医学的に必要性はない。
			CRP	炎症反応をみる指標であるが、二次検査として行うべき項目である。とくに軽度異常値の場合、除外すべき疾患群がまったく不明であるゆえ、一次検査として実施するとその後の精査として不要な検査が繰り返され無駄な医療につながりかねない。
		眼圧検査		日本人の大半は正常眼圧緑内障であるため、眼圧測定は有効でない。仮に行うとすればFDT検査（視野検査）の導入を検討すべき。